

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス じゃんぶ				公表日	2026年 2月 25日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%			0%
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	③の部屋、④の部屋と名称をつけたり学習用具や玩具の置き場など分かりやすくしている。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間になっているか。	100%	0%	・室温湿度は常に快適に整うようにしている。また玩具の消毒も欠かさない。 ・毎日の清掃、消毒を行っている。 ・手の届きやすい場所などに消毒機を設置する等配慮している。	・感染防止に努めながら今後も継続していきます。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・疲れ、体調を見て個別での休息をとれる場所がある。 ・学習、活動で部屋を分けて使うことができる。 ・落ち着きたいときに使える部屋がある。 ・場面に応じて空間を作れるよう対応できている。	・今後も継続していきます。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	・4つのプロセスを順に繰り返し業務改善、品質向上に努めている。 ・全員で話す機会を設けている。 ・打ち合わせなどの時間に振り返りや今後の方針等意見交換している。	・児童の様子などについては毎朝細かく打合せを行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・アンケートをお願いしよりよい業務を心あがけている。	・今回の結果を改善に活かしていきます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・毎日の打合せ、また月曜日の会議には話し合いの時間を設けている。 ・打ち合わせや事例検討会の際に話し合える場を設けている。	・今後も継続していきます。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	40%	60%	・別の事業所の方が見学に来ることがある。	・外部評価は実施していませんが状況に応じて今後は検討していきます。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・研修にはそれぞれが積極的に参加している。 ・職場内で事例検討会を行ったり研修会へ参加している。	・可能な限り外部研修に参加		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	・日ごとに毎日のスケジュールを作り保護者に伝えている。	・今後も継続していきます。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%		・職員全員の意見を踏まえて作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・子供の様子や目標達成の程度などについて、話し合う機会を設けている。	・職員全員の意見を踏まえて作成しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	・計画を回覧して共有している。 ・全員が必ず目を通すようにしている。 ・エピソード等、常に共有できている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	・ケース会議を通してその子どものよいところ、改善するところを話し合っている。	・活動記録を行う上で工夫しながら取り組んでいます。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		・職員全員の意見を踏まえて作成しています。		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	・その日の人数、その日来る子供たちの様子を見て、朝の打合せや夕方に臨機応変に活動を変えることがある。 ・複数人で立案している。	・月ごとの支援目標に沿って活動プログラムを作成しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・毎月、活動内容を計画している。	・季節に応じた活動を取り入れながら固定化しないように努めています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	・子供に合わせて適宜個別や集団活動を行っている。また、グループ分けや活動の内容も配慮している。	・個別、集団支援を組み合わせながら個々の内容に沿った支援を行っています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・毎日朝の打合せをして確認している。また、当日の活動計画を随時確認しながら支援している。	・毎朝必ず打合せを行います。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	・当日に話し合うことその他、翌日の朝の打合せでも話し合って共有している。	・基本的には翌朝に行いますが、必要に応じて支援終了後に行うこともあります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・記録をとれない(送迎等)職員もいるため定格的な記録を心がけ全員で共有している。 ・毎日記録している。他スタッフと、共有しながら記録している。	・写真や動画を基に検証しています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・朝の打合せ等の話し合いを基に行っている。	・職員全員の意見を踏まえて作成しています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	100%	0%	・自立支援、捜索活動、地域交流、余暇提供を組み合わせた支援を行っている。 ・将来を見据え、身の回りの確認や近隣の外出、宿泊などを行っている。	・今後も継続していきます。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	・活動の際、子ども同士で話し合っ何のゲームをするか決めることがある。 ・2択3択から選ぶことや、ゲームの内容を相談して決める等を行っている。 ・子どもによって尋ねる方法を変えながら行っている。	・特に力を入れて行っています。選択した内容については可能な限り受入れ、また受け入れられないこともある旨も合わせて伝えながら日々の支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%		・今後も密に関わりながら利用児の成長に繋げていけるように努めます。
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	100%	0%		・今後も継続していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%		・保護者の意向を踏まえながら適宜行っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%	・今年度は該当する子どもがいない。	・該当児童がいるときは、情報提供書にて連携を行っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	80%	20%		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	80%	20%	・公園等で地域の子どもの交流等あり ・地域の子どもの交流の機会がある。	・事業所間での交流は行っていませんがボランティア等の個人での関わりを中心に行っています。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%		・今後も継続していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・送迎時、迎えに来た時、連絡ノートなどで伝えている。 ・送迎時やノート電話連絡を通じて対話している。	・相談しやすい環境を心がけています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	・研修会のチラシ等を配付または掲示している。また、保護者の相談に対してアドバイスしている。	・保護者に寄り添いながら問題解決に繋がるよう支援します。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%			
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	・目標や自分の希望等を、必要に応じて三者で話し合っ決めていく。	・職員全員の意見を踏まえて作成しています。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・常に適切に支援されている。 ・面談の機会を設けて相談、話し合いの内容について支援に生かしている。	・全職員が保護者のSOSを見逃さないように心がけています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	20%	80%	・先延ばしせず常に適切な対応が行われている。 ・保護者会は行っていないが、必要に応じて互いに情報交換できるよう準備している。	・保護者の負担を避けるため、保護者会の結成は行っておりません。療育参観等で保護者間の交流が図れるよう努めています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・苦情・要望箱を設置いつでも受け付けるようにしている。	・相談しやすい環境づくりを心がけています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・月1回の通信を発行し、活動の計画や活動の様子等を知らせている。	・日々の療育の内容等をわかりやすく伝えられるよう心がけながら、ホームページ等の活用についても検討しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・来客の際には個人情報の物は必ず伏せたり、目につかないところに置く。 ・来客の目にも配慮し、掲示物についても気を付けている。	・今後も継続していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・言葉だけでなく身振りや2択等のタッチでの選択などを行っている。 ・口頭だけでなく改めて連絡ノートに記載する等配慮ができています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%		・地域の方々はとても好意的に受け入れてくれます。状況に応じて検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	・職員の目の届くところに掲示している。	・事前にマニュアルを確認した上で、避難訓練を実施しています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	・避難訓練を年3回行い、地震、浸水、火災のそれぞれにそった訓練を行う。 ・年3回の避難訓練を行っている。	・事前にマニュアルを確認した上で、避難訓練を実施しています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	・薬持参の子どもあり、預かっている薬には名前、使用期間を表記している。 ・薬の有無、量など、変更があった際には伝え合っている。 ・てんかん発作時の応急措置の薬を預かっている。また、対応について掲示している。	・保護者、学校等と相互に確認できるよう工夫しています。またICTを活用し迅速に情報共有できるようにしています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	・卵、牛乳、ピーナッツなどアレルギーのあるこの掲示をしている。	・職員相互で確認するよう工夫しています。またマニュアル作成の上、万が一の備えも行っています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	・避難訓練を行い、地震、浸水、火災のそれぞれに沿ったSSTも行う。 ・消火器設置や避難口、案内の設置を行っています。	・緊急時に備えた対応をマニュアル化しています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		・緊急時に備えた対応をマニュアル化しています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・ヒヤリハットとした重大事故、災害に直結しかねない事象の際にはかあならず話し合いを設けている。 ・都度、ヒヤリハットについて情報を共有するとともに用紙に記入し回覧を行っている。	・事業所内研修などに用いながら再発防止に努めています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・研修後には全職員に報告時間を設けて研修内容を伝授している。	・虐待防止研修のほか、日々の業務打合せ、報道も含め内容を共有の上、日々意識を高めるように努めています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	・身体拘束を行うことはない。	・現在までに実施例はありません。